

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	議事録の内容や記載方法を職員間で検討し、玄関に設置する事で、参加されなかった家族や来訪者への共有に繋がることを期待したい。	会議の資料や議事録を見る事で、取り組みや話し合いの内容を誰もが理解し、共有へ繋げることができる。	・2ヶ月毎の会議が終わったら、会議の資料と議事録を玄関に提示してお知らせする。 ・ポイントをおさえた記録の勉強会を年間予定表に入れ込み行っていく。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期の対応について職員のメンタルにも配慮した、ホーム内の研修も期待される。	病状の見極めがついた段階で話し合いを行い、方針が決まったら医療チームと連携を図りながら、スタッフが一丸となり取り組んでいく。	・定期的に年2回、重度化や終末期の対応・職員のメンタルケア・家族支援の勉強会を計画、実施する。	12ヶ月
3	35	今後は火災訓練と併せ、地震・風水害に対する訓練計画や備蓄の準備、近隣者への訓練参加を引続き行い有事に備える事で、入居者・家族の安心に繋がることが期待される。	年2回の避難訓練時、地震・水害等の災害、離苑(行方不明)も想定し、地域の方々に参加して頂き実施して行く。	・年1回は消防署、1回は地域の消防団に参加して頂き、実施していく。 ・苑にも備蓄の準備を少しずつ行っていく。	12ヶ月
4	54	今後も使いなれた品々や好みの物の必要性を、具体的に説明し、安全面にも配慮しながら個々に応じた居心地の良い居室を家族と一緒に作る。	本人が使いなれた品々や愛着がある物があることで、安全に安心して居心地良く過ごせる環境づくりの支援をする。	・家具のレイアウトをご家族と相談し、協力を頂きながらその人に合った居室づくりをする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

